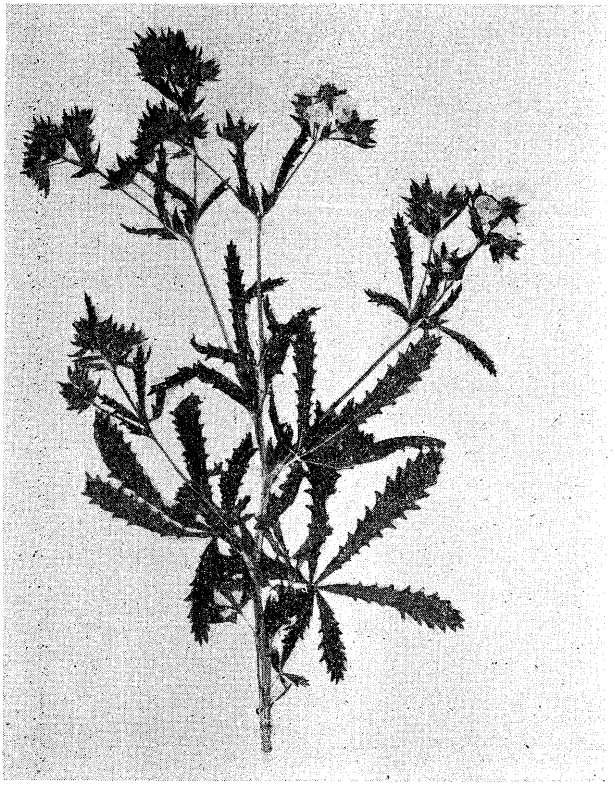
○ オオヘビイチゴをとつた（久内清孝）Kiyotaka HISAUCHI : *Potentilla recta* L. has been collected as a casual of an arable land.

本年7月25日千葉県習志野の畑で一種のキジムシロ属の草を見出した。明かに外来の草本であるので，早速調べて見たところ *Potentilla recta* L. に該当することが判明した。よつてこの欧州の原産の風来物が過去において記録されているかどうか調べたところ，現在見なれないこの草も，既に記録されていることが明かになつた。すなはち，文献上では明治26年（1893）の植物園種子目録に出ていてオオヘビイチゴの名を与えられているのみならず，植物名彙（1884），帝国大学理科大学植物標品目録（1886），改正増補植物名彙（1895），植物名鑑（1912）に命名者名を Willdenow として収録され，改訂植物名彙後編（1916）から命名者名を Linnaeus と改め，和名をオオロウゲ，タチロウゲとして採録され，爾来植物総覧もこれをのせ上記の三和名が和名としてあり，更にこれが園芸大辞典にまで移行していることを知つた。また，東大腊葉室所蔵の標本には明治12年（1879）6月5日附の植物園での採品がある。当時この草は，一般観賞用にされたものらしく，また園芸大辞典にも時に栽培されると書いてある。この花は本邦産のこの属のものに比して花が大きく，径 2 cm もあり，黄色で平開する。またその葉は羽扇状であるので観賞価値もあると思はれる。尚この草は多年生で，叢生する傾向がある。米国の本には帰化植物としてあるが，我国では，いまのところ偶然の来訪者（Casual）として扱はるべきものとすべきものである。（東邦大学）